

## 資料3-3

# 第3回介護職員スキル アップ研修会資料



# 1. 地域包括ケアが求められる背景 ～医療・介護の大改革～

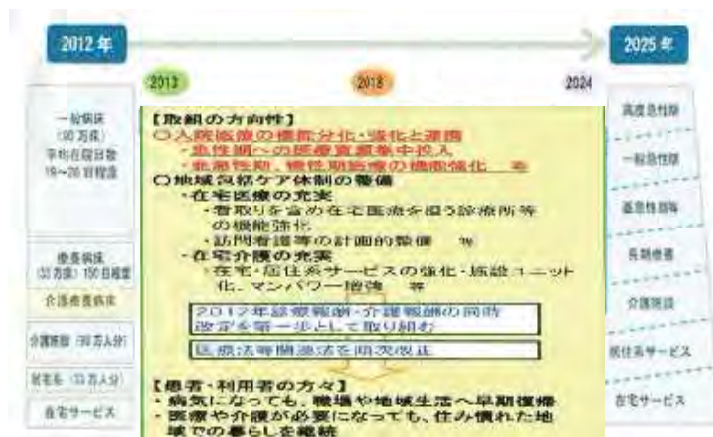
## デイサービスにおける 機能訓練の方法

川崎医療福祉大学  
千野根勝行

2025年モデルと病床機能再編

### 本日のあらすじ

1. 地域包括ケアが求められる背景  
～医療・介護の大改革～
2. 理学療法士は何をしている職種なのか(介護職との違い)
3. デイサービスにおける機能訓練の方法～ねむの木デイサービスの取り組み内容～
4. その症状、機能訓練をしてよい？ してはいけない？







## 地域包括ケアシステムの構成要素

### 【地域包括ケアの5つの視点による取組み】

地域包括ケアを実現するためには、次の5つの視点での取組みが包括的(利用者のニーズに応じた①～⑤の適切な組合せによるサービス提供)、継続的(入院、退院、在宅復帰を通じて切れ目ないサービス提供)に行われることが必須。

#### ①医療との連携強化

- ・24時間対応の在宅医療、訪問看護やリハビリテーションの充実強化
- ・介護職員によるたんの吸引などの医療行為の実施

#### ②介護サービスの充実強化

- ・特養などの介護拠点の緊急整備(平成21年度補正予算:3年間で16万人分確保)
- ・24時間対応の定期巡回・随時対応サービスの創設など在宅サービスの強化

#### ③予防の推進

- ・できる限り要介護状態としないための予防の取組や自立支援型の介護の推進

#### ④見守り、配食、買い物など、多様な生活支援サービスの確保や権利擁護など

- ・一人暮らし、高齢夫婦のみ世帯の増加、認知症の増加を踏まえ、様々な生活支援(見守り、配食などの生活支援や財産管理などの権利擁護サービス)サービスを推進

#### ⑤高齢期になっても住み続けることのできる高齢者住まいの整備(国交省と連携)

- ・一定の基準を満たした有料老人ホームと高専賃を、サービス付高齢者住宅として高齢者住まい法に位置づけ

## リハビリテーションとは

語源: habilis (適した, ふさわしい)

動詞形 habilitare + re

意味: rehabilitation = to make fit again

再び適した(ふさわしい)状態にする

名誉・権利・地位の回復, 無実の罪の取り消し, 犯罪者の社会復帰などに用いられていた用語.

「障害のある人」に用いられたのは1917年が最初

## リハビリテーションとは： 分 類

### 1. 医学的リハビリテーション

身体的・精神的機能障害および活動障害の予防・回復を図り、参加制約をできるだけ軽減する

### 2. 職業的リハビリテーション

障害者が就労の場を得、かつ維持するための援助

### 3. 教育的リハビリテーション(正確にはハビリテーション)

傷病児を対象に教育の場で行われる援助

### 4. 社会的リハビリテーション

全リハビリテーション過程が円滑に進むように経済的・社会的条件を調整するためのサービス

## 「障害のある人」に対する リハビリテーションの目的の変遷

徴兵・出兵、職業復帰(生産能力向上)



生活への復帰(生活能力向上)



個々人にとっての最高のQOL実現

## 医学的リハビリテーション (リハビリテーション医療)

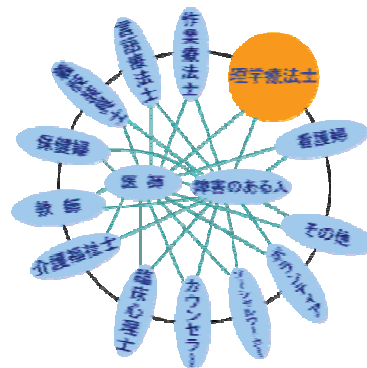
### 何を

**障害の予防**: 廃用症候群や合併症の予防

**障害の回復**: 機能障害の回復, 代償能力の開発, 福祉用具の適応, 環境改変

### 誰が

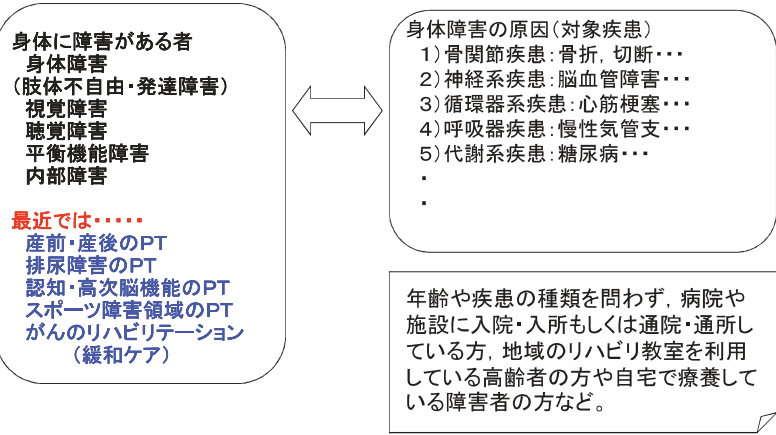
医師, 看護師, 理学療法士, 作業療法士, 保健師, 言語聴覚士, 義肢装具士, 臨床心理士, ソーシャルワーカー, 介護福祉士, 栄養士等 対象者に必要な職種がチームを組んで**チーム・アプローチ**



## リハビリテーションとは： 定 義

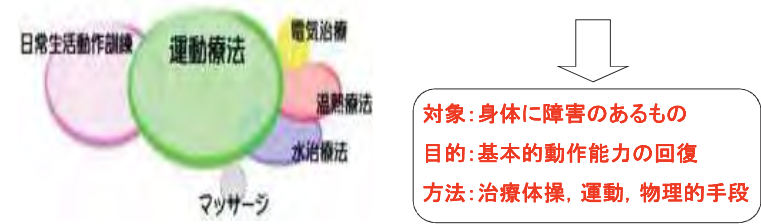
- ・能力低下のある者を彼のなし得る最大の身体的・精神的・社会的・職業的・経済的な能力を有するまでに回復させること(米リハ評議会, 1941)
- ・能力障害あるいは社会的不利を起こす諸条件の悪影響を減少させ, 障害者の社会統合を実現することを目指すあらゆる措置を含むものである。障害者を訓練して環境に適応させるだけでなく, 障害者の直接的環境および社会的全体に介入して彼らの社会統合を容易にすることを目的とする(WHO, 1981)

## 理学療法の対象



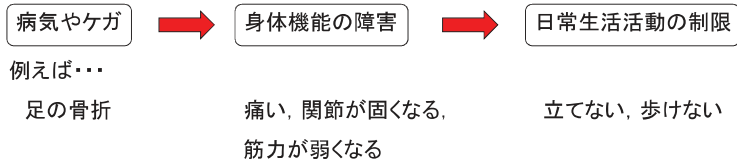
## 理学療法の定義

理学療法とは、**身体に障害のある者**に対し、主としてその**基本的動作能力の回復**を図るため、**治療体操その他の運動**を行なわせ、及び**電気刺激、マッサージ、温熱その他の物理的手段**を加えることをいう。  
 [理学療法士及び作業療法士法 第2条]



理学療法士とは、**厚生労働大臣の免許**を受けて、理学療法士の名称を用いて、**医師の指示の下**に理学療法を行なうことを業とする者をいう。  
 [理学療法士及び作業療法士法 第2条]

## 理学療法の対象



**身体機能の障害**  
 片麻痺などの運動麻痺, 関節可動域障害, 筋力低下, 疼痛, 平衡機能障害, 呼吸障害, 全身体力低下など

**日常生活活動(起居・移動)の制限**  
 寝返り, 起き上がり, 座る, 立つ, 歩くなどの制限

➡ **運動発達・運動学習** の理論をもとに **姿勢制御** を行う

## 理学療法の定義

理学療法とは……  
 治療的運動, 指導, 温熱, 寒冷, 光線, マッサージ, 電気などを用いる**身体的治療の科学および技術**である。その治療目的は鎮痛, 循環の改善, 障害の予防と矯正, 筋力・可動性・協調性などを最大限に回復することである。

理学療法には神経障害の程度や筋力を測定するための**電気的および徒手テスト, 各種機能テスト, 関節可動域テスト, 肺活量測定**などを**医師の診断の補助**として, また**回復度を記録**するために行うことが含まれている。また, 理学療法士は障害の予防や病人あるいは障害者の治療に関わり, **予防医学や臨床研究の領域**においても活動する。

[世界保健機構(WHO)]



## 理学療法の方法

### 運動療法

動きの悪くなった関節の可動域拡大や、筋力の低下した筋肉の筋力強化、体力の向上や維持などのために、さまざまな運動を行います。身体の運動を科学的に適用する治療手段で、解剖学、生理学、運動学などを基盤として発展してきた治療法です。

### 日常生活動作・基本的動作訓練

起き上がる、座る、立つ、歩くなどの日常動作の基本となる動作・姿勢制御を行います。  
移動動作: 寝返り、起坐、坐位保持、起立、立位保持、歩行、階段昇降、車椅子移乗、車椅子駆動など

### 物理療法

電気、温熱、水、光線などの物理的エネルギーを用いて、痛みをやわらげたり、運動を行いやすくします。  
温熱や光線、超音波や電磁波、電気などの物理的エネルギーの生体にもたらすさまざまな作用を期待する治療法で、主目的は痛みの緩和です。



対象者の動作に対して“できる”“できない”の評価を下すだけでなく、どのよう“できる”“できない”のか、なぜ“できない”のか“できる”ためには何が必要なのかという視点で関わり、動作を丹念に観察、分析する必要があります。

動作そのものを練習して動作を獲得、向上させるだけではなく、改善に限界が認められれば、居住環境の改善や介護者による介助などさまざまな対応策を考えることも必要です。

## 理学療法士はあなたの生活を支援します

障害があっても、高齢になっても、いきいきと生活していくために  
理学療法士は健康と生活のサポーターです

### 健康管理、身体機能保持・増進のために

人生80年の時代に、健康を維持していくために、その人に合った身体運動をアドバイスします。



### 家で寝たきり・閉じこもりがちな人たちへ

生活にメリハリをつけ、寝食を分け、生き生きとした、その人らしい生活を見つげるための支援します。



### 障害があつて在宅生活を始める人たちへ

いざ、病院を退院し在宅生活を始めると、その環境の違いや介護方法など、戸惑うことが多くあります。その人に適した理学療法を提供します。

### 自立支援・社会参加のために

自立生活を支援するためにご相談に応じます。

### 障害のある子供たちへ

成長とともに、その成長を手伝うのに、どのような方法がよいか、共に考えます。



### 成長のゆるやかな子供たちへ

マニュアルと異なり、ゆるやかに成長している子供たちの、「子育て」を支援します。



## MOVEMENT SCIENCE

### 理学療法士は

**Motor Control (姿勢・運動制御)**

**Motor Learning (運動学習)**

**Motor Development (運動発達)**

のスペシャリストです。姿勢・運動の教師です。

もし視覚からの情報が無かったら……

もし足底からの情報が無かったら……

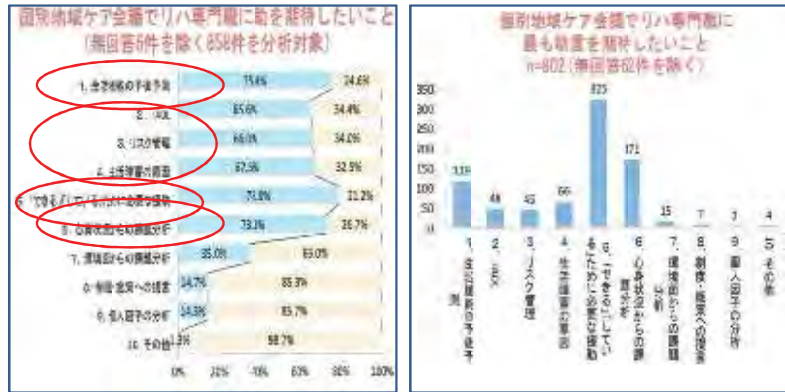
もし関節の位置や感覚がなかったら……

あなたはどのように動きますか？

生活しますか？



# 地域ケア会議にて検討された項目



## 3. デイサービスにおける機能訓練の方法

# 地域ケア会議にて検討された項目

サブカテゴリー	カテゴリー	コア カテゴリー
行政ではリハ専門職の雇用が困難な状況の中、リハ専門職への地域ケア会議の出席依頼方法がわからない	地域ケア会議にリハ専門職を派遣するための自治体への窓口や関係づくりの必要性である	
リハ専門職が少なく地域ケア会議に関与を求めることは現状としては困難であり、特に過疎地・遠隔地ではリハ専門職との関わりを持つことが困難である	リハ専門職自身やその所属機関に対する地域ケア会議への派遣体制の構築の必要性である	リハ専門職を地域ケア会議に派遣する・依頼されるための仕組み作りが必要である
病院等所属機関の本来業務の兼ね合いから、リハ専門職に地域ケア会議に出席を依頼することは困難である	地域ケア会議におけるリハ専門職の質の担保が課題であり、リハ専門職から地域ケア会議への意思表示が必要とされている	地域ケア会議におけるリハ専門職の役割の周知が必要である
リハサービス未利用者に関する地域ケア会議へ、リハ専門職に出席を依頼することが困難である	地域ケア会議におけるリハ専門職の役割がわからない	今後は、地域ケア会議に関するリハ専門職に対する教育の必要性がある

## 開催された個別地域ケア会議にて検討された項目

(個別地域ケア会議を開催した429件が対象)

地域ケア会議へのリハビリテーション専門職の関与および役割についての調査報告  
[http://www.japanpt.or.jp/00\\_jptahp/wp-content/uploads/2013/08/suishinijigyou\\_houkokusho\\_h25.pdf](http://www.japanpt.or.jp/00_jptahp/wp-content/uploads/2013/08/suishinijigyou_houkokusho_h25.pdf)より

全国1742市区町村の地域包括支援センター主管部署を対象、平成25年9月17日～同年10月30日にかけて郵送による調査票調査を行った。

該当する地域ケア会議で検討された(話題となった)項目の番号全てに○をつけてください。また、その中で最も重視されて検討された項目の番号を<>にご記入ください。

- 生活機能の予後予測
- IADL(掃除・洗濯・買い物・調理など)への着目
- リスク管理(現状の生活を続けていくとどのようなリスクがおきるか)
- 生活障害の原因を探る(なぜそれができないのか)
- 「できそう」なことを「できる」「している」にするために必要な援助内容
- 疾患・障害等の本人の身体・認知状況からの課題分析
- 物的、人的、制度的、等の環境面からの課題分析
- 制度・施策への提言
- 生活歴や家族歴等からの個人理解
- その他

## 運動器疾患における 変形性膝関節症並びに変形性腰椎症の罹患率

65歳以上の高齢者における罹患率

	男性	女性
変形性膝関節症 (推計患者数)	42.6% (860万人)	62.4% (1,670万人)
変形性腰椎症 (推計患者数)	81.5% (1,890万人)	65.5% (1,900万人)

X線上で変化が認められる変形性膝関節症患者のうち痛みを伴う割合

	男性	女性
	25%	33%

Yoshimura N, Muraki S, Oka H 2009

## 高齢者の体力の構成要素



- 高齢期の運動器の機能低下をもたらす要因は、加齢を転機として、身体活動が減少し、社会的・心理的加齢がもたらされ、さらに運動器の機能低下を引き起こす、悪循環モデルで説明される。

## 介護予防マニュアル改訂版

介護予防マニュアル改訂委員会平成24年3月

## 鹿児島県介護予防研修会

### 運動機能向上

公益社団法人 鹿児島県理学療法士協会

## 高齢者の体力を どのように捉えるか？

### 若年・発達時期

- 「より強く」「より高く」「より速く」が重視
- 各テスト項目の結果が重要視される
- 各テスト項目の関連性は問われない

### 老年期(高齢期)

- 各機能が「どれだけ高いか」という観点よりもこれらを統合して日常生活を如何に安全に効率よく動くことが重要

北林 2012